

社長のひと言

穏やかな日々が続いていた4月25日午前11時56分(日本時間午後3時11分)、突然、ネパール全土が大きく揺れ動いた。カトマンズの北西約80kmを震源とするマグニチュード7.8の地震が発生した。直ぐに本社に来て、ネパールへ出張中の六口常務やネパール支店の関係者と連絡を取り、情報を収集した。残念なことに、昨年、石工として立山の現場で働いていたシェルパ・ラクパ・ツエリンが、中国のエベレスト登山隊に同行し、ベースキャンプで地震による雪崩に巻き込まれ亡くなったとの知らせや、現地スタッフの自宅が崩壊し、奥様がその下敷きになって亡くなったなどの被害状況が入ってきた。また、当社と関係が深いクムジュン村やクンデ村などでも多くの家が倒壊しているとの報告があった。幸い、ネパール出張中の7人と着任中の4人は無事とのことで安堵した。また、現場に直接の被害がなかったことも不幸中の幸いだった。

この地震による死者数は8000人を超え、全半壊した建物は60万戸と報じられています。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

地震直後、多くの方々から被害状況の問合せや、支援の表明を頂きました。早速、義援金口座を開設したところ、多くの義援金が寄せられており、感謝しております。この地震によって多くの方が犠牲になり、多くの方が負傷し、多くの建造物が崩壊しました。今後、ネパールが、強固な国に生まれ変わるよう、当社としてもできる限りの協力をしたいと思っています。

ネパール救援金

5月27日(水)、立山町赤十字奉仕団によるネパール大地震への募金活動で集まった救援金の一部を当社へ届けて頂きました。今回の救援金は社長自ら現地を訪れ、被災者支援に充てます。ありがとうございました。



ネパール滞在記(海外勤務のだいご味)

国際事業部 浮橋 啓介

ネパールをはじめ南アジアや中央アジアではご飯を手で食べますが、ヒンドゥー教では左手は不浄とされ、左手は用を足したあと洗い流すために使う手なのです。そのため、食べ物を左手で触るのは外国人であってもタブーだと、インド経験者から聞いていました。

なんでも自分で確認しないと気が済まない僕は、ネパールに来てから、ほんとな？と観察をしていましたが、やはりいました。今、僕と一緒に働く設計士、ルバク(28歳)が左手で食べています。「左利きなんだからしょうがない。僕はカーストも気にしないよ」。彼と話すと、若い世代は多少、世俗化しているようです。

ネパール人は皆口をそろえて、「手で食べる方が美味しい!」と言い、手のひら全体を使って食べます。そのことはガイドブックでも読みました。僕も試したことはありますが、不慣れなと、手を油だらけにするのは戸惑います。けれど、もう一人の設計士、アビシェクは12月にはスプーンで食べていました。理由は「食事の前後に手を洗うけど、冬は水が冷たいんだよ」。やはり例外があるのですね。

ここに書いたことは些細な例ですが、日本とは違う人々の行動、生活、考え方を垣間見、また、世の中で言われていることとの違いを知ると、それらが何かしら形を変え、時間をかけて、自分の行動や考え方、様々な事柄への許容範囲を広げてくれます。そんな素材発見が毎日のようにあるのです。だから仕事が大変でも、多少生活環境がきつなくても、どうにも考え方が合わない異国人がいても、海外勤務は日々有意義に感じるので。



ネパール大地震に遭って

土木部 中川 英治

私達はその日、昼食を食べようとビルの中にある洋食店で注文も終わり料理を待っている時の出来事でした。突如、異常な程の横揺れ、店の中はパニックとなり、各々身を守るため様々な行動をとり、私自身はビルが崩れると思い、入口に向い走り出していました。ビルの前の駐車場に出た後、徐々に揺れも収束していき、共に行動していた全員が集まり、怪我もなくビルが倒壊することもなく安堵していたのですが、ホテルに向かうため公道に出た瞬間に目に入ってきたのは、崩壊する塀や横倒しになる電柱、逃げ惑う人々。突然の事でしたが、その光景とこれから自分達はどうなるのかという恐怖感忘れられません。

翌朝、空港へ向かうと異常なほど混雑し、余震が起きるとパニックとなり、常に騒然としていました。私達の乗った飛行機は離陸し、日本に戻る事となりましたが、現在でもネパール大地震の影響は続いております。

犠牲になられた皆様のご冥福と、困難な状況下にある被災された皆様や復興作業に従事される皆様のご健康、そして被災地の復興を願っております。



震災直後に小路から大通りへ避難する人々

学生会社訪問

5/27(水)13時半から2名の学生が会社訪問に来ました。今回、社員の方々の協力でスムーズに開催することが出来ました。人材獲得のため、今後ともご協力をお願いします。



総務部からのお知らせ

- ・美術館「企画展」観覧補助券 (近代美術館・水墨美術館・高岡市美術館)
- ・ボーリング補助券(各ボーリング場)
- ・立山博物館友の会より無料券
- ・海の家・プール利用補助券(来月予定)
- *利用する方は総務部へ連絡してください

JITCO「外国人技能実習制度」の3名を受け入れ

技能を修得し、その国の経済発展を担う人材育成を目的としています。今後の予定としては、研修プログラムをこなし、試験を受験します。



左から
・ハクバ・ヌルブ・ミンマ・ヌル
・シェルパ・ダ・ツイリ

リレーコーナー

『我が家のペットの紹介』

土木部 清田 裕司

わが家では、室内犬のトイプードルを飼っています。茶色の男の子で名前は茶っピーと言います。犬を飼ったのは4年前です。私はペットを飼うことを禁止していましたが、最終的には嫁と息子に押し切られ、とうとう飼うことになってしまいました。

しかし、私も些細な抵抗を試み、やっとの思いで誓約書なるものを子供に書かせることにしました。内容は、・毎日餌を与える ・散歩は進んで行く ・世話全般を行う 等々で、特に極めつけは、私の小遣いを上げるというものです。さすがにこの条件は飲めないだろうと内心「勝った」と思いましたが、数日後「誓約書」なるものが出来上がっていました。

そして、我が家に犬が来ることになり、私の小遣いは、上がるどころか下るばかり…。理由は餌代が掛かるとのことで大蔵省にて単独裁定を受けたようです。よく有るパターンの一例ですが、言うまでもなく散歩・餌やりは私の仕事になっています。ちなみに、誓約書なるものは、ほぼ半年程で消滅し、ただ1つ憐れみを見てか、私に一番懐いているのが唯一のなぐさめです。



6月行事予定

- 13日(土) とやまジョブフェアイン TOKYO (合同企業説明会)
- 15日(月) 会社安全祈願祭・健康診断
- 19日(金) 工程会議(予定)
- 30日(木) 出勤簿提出
- 6日、13日、20日、27日(土) 会社指定休日
- 随時 社内パトロール

6月15日(月)10時から志鷹会館で健康診断を実施します。当日は会館に検診車がきますので駐車しないようお願いします。
*各病院で受診された方も会社から補助が出来ます。詳しくは総務部へお問い合わせください。